

# 野田村の現在を未来に伝える その I

## 將野田村的現在傳遞至未來 第 I 章



2011年3月11日の東日本大震災・津波から7年半が経った。野田村は国内外から様々な支援を受けて、着実に復興の歩みを進めている。野田中学校生徒は、震災直後、自分達も何か力になりたいという想いから「野田村の太陽になろう」を合言葉に発信や想いを伝えている。我々2年生は、現在の自分が「未来に残したい、誰かに伝えたい」と思う「ひと・もの・こと」を写真におさめた。震災を経て変わりゆく故郷の姿、そして、変わらない故郷の姿を伝えたい。

2011年3月11日の東日本大地震與海嘯已過了7年半。野田村受到了來自海內外的各種援助，重建工作也持續進行著。野田中學的學生們在地震過後，靠著自己想做些什麼的信念而以「成為野田村的太陽」為口號，向各方傳遞訊息與想法。我們2年級生將現在自己「想留給未來、想傳承給誰」的想法「人・物・事」用照片記錄下來。藉以傳遞經過地震災害而逐漸改變的故鄉景色與如終不變的故鄉景色。

野田中学校2年 その①



野田村は、台湾のホストタウンになっており、台湾の方々に静岡市や日本の文化を紹介するなどの交流を行っています。  
ホストタウンとは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方自治体を、内閣官房が登録するものです。  
野田村は臺灣參加2020東京奧運協辦城市，因此在舉行向臺灣的朋友們介紹靜岡市及日本文化的交流活動。  
協辦城市是指，針對2020年東京奧運會、殘奧會的舉辦，由內閣官方登錄計劃與參賽國、地區之間進行人才、經濟、文化等方面的相互交流的自治體

